

## 第1回千倉地区学校再編検討委員会 会議録

日時	平成24年3月8日 午後7時から
会場	千倉保健センター3階機能訓練室
出席委員	24名
欠席	なし
傍聴	2名

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 教育長挨拶

学校再編検討委員会ですが、第2期ということで、第1期は富浦、富山、白浜の3地区で富浦、白浜については昨年4月1日から新しい富浦小学校、白浜小学校ということで、富山地区につきましてはすべてのことについて協議が終わりまして、まもなく4月1日から新しい富山小学校ということでスタートすることになっています。23年度からは第2期ということで丸山地区、和田地区、若干遅くなりましたが、今日から千倉地区ということで千倉地区の幼稚園、小学校、中学校、あとで説明いたしますが幼保一体化ということで保育園と幼稚園を一体にしていこうという考えもありますので、それらを含めて、皆さま方から意見をいただきまして、一定の方向に向かいましたら、私どもの方で協議の内容を住民の皆様方に説明をして、統廃合を進めていきたい。どうなるかわかりませんが、いくつかの学校が閉校あるいは統合と気持ちとしては複雑な思いがありますが、後ほど報告いたしますが、子供の数が予想以上に減っておりまして、その辺の部分を含めまして、御意見を賜ればありがたいと思います。また、市議会議員の皆様にはオブザーバーとして大所高所からこの協議を見守っていただければと思います。どうかよろしくお願いします。

#### 4. 委員紹介

委員、オブザーバー、事務局

#### 5. 設置要綱説明

事務局 南房総市地区学校再編検討委員会設置要綱を説明

委員 確認ですが、第1条の委員会と第3条の地区委員会とは別のものですか。

例えば、市内に6つの地区委員会があり、それらの意見を持ち寄ったものを市が検討委員会を設けて、各地区の意見を統一して議会に諮るのですか。それとも、地区委員会は地区委員会として個々に提言し、千倉地区はこうで

したと議会に諮るのですか。 と考えますのは、第1条で「南房総市地区学校再編検討委員会」を総じて「委員会」と。また、第3条では「各地区学校再編検討委員会」を総じて「地区委員会」となっていますが、要綱を読んできると「委員会」であったり、「地区委員会」であったり、言葉が集約されていないのではないのでしょうか。

事務局　　まず地区委員会というのは基本的には市の幼稚園、小中学校の再編計画を作るにあたって、平成19年に組織されて、市全体での学校再編はこう進めた方がいいだろうと。その中の地区という形で各旧町村の地区単位で再編を円滑に進める地区の役割を担う組織ということになっております。後ほど全体計画については説明しますが、全体計画を作るのが南房総市全体の計画でその中の地区という。地区では、こういう再編の一つの案という形。

委員　　他に市全体で1つあるのですか。

事務局　　あると言いますか、基本的には全体計画を作ってその組織は完了です。その全体計画にのっとった地区においては、地区で基本的に進めていくという形になります。

委員　　第7条は地区委員会と第4条4項はただ単に委員会とあって、どちらを指すのか。私としては「委員会」と「地区委員会」の違いに迷いがある。「地区委員会」でないなら「本委員会」と言ったほうがわかりやすいのでは。

教育長　　大変申し訳ありません。表題が「地区学校再編検討委員会」とありますので、委員会で告示の整理をして、教育委員会議にかけて文言の整理をします。基本的にはこの会議は千倉地区のことについて協議していただいて、その内容を私どもへ提言いただき、それを学校の設置条例として議会に諮っていくというのが大筋の段取りになります。

委員　　教育委員会です承を得た中で、原案を議会にかけるということで、第1条の中の「南房総市地区学校再編検討委員会」というものはないということでもいいですね。

教育長　　ないと申しますか、大きな再編計画を作った委員会はありましたが、今は終わっていますので、もう一度、実状に合わせて文言を整理して、教育委員会議を経て、訂正いたします。また、文言は別として皆様方には千倉地区の幼稚園小中学校の在り方について御協議いただきたい。

委員　　それが教育委員会を経て、議会で審議されるということですか。

教育長　　はい。

委員　　わかりました。

## 6. 委員長・副委員長選出

委員長　　星正芳氏

副委員長 鈴木利輝氏

—休憩—

## 7. 議事

委員長 これより第1回千倉地区学校再編検討委員会を始めます。

委員 その前に確認しておきたいのですが、この会議は再編ありきで進めないといけないのですか。この会議の中で再編をしないということはできないのですか。それによって、自分の意見を整理して述べなければいけない部分もありますので、その確認をしてから再編計画の話をしていただきたい。

委員長 そういう意見が出ましたが、先程の教育長の話しでは再編するとの方向でこの会議が行われているのだと思われます。もう一度再編するかしないかの話しをするということですか。

委員 再編する方向で進むのであれば、自分の中の考え方を整理しなくては行けないので。

教育長 私どもは再編の必要があると考えております。このあと、千倉地区におきましては全体の枠の考え方を提案いたしまして、その方向で再編していくか、していかないかを議論し、次回に具体的な提案をしていただきたい。ですから、第2期につきましては、1回目は大枠の私どもが作成した小中学校再編計画に基づいて、議論いただいたわけですが、もう一回、丁寧にこの大枠で議論いただいて、再編の方向で結論を得まして、得られましたら、その後、具体的な提案をしていきますので、再編の是非についても御意見をいただければと思っています。

委員長 それでは第1号「千倉地区の幼稚園及び小中学校再編計画について」を提案していただきます。

事務局 第1号「千倉地区の幼稚園及び小中学校再編計画について」説明

教育長 会議次第の児童数推移予想を見ていただきたい。先程、再編の方向でお願いしたいとお話ししましたが、1歳児から6歳児までの人数が6年たちますと、そのまま小1から小6までの人数になると、学年ごとに見てもらった場合、人数は10人を切った、あるいは10人程度と非常に少ないのですが、人数の少なさもあります。例えば、七浦小の2歳児の男の子は7人女の子が1人、忽戸小の同じ2歳児が男の子は1人女の子が3人あるいは、忽戸小の5歳児男の子は4人女の子が1人と、男女のバランスが悪い状況が出てきます。これは八束小にもありましたし、平群小にも出てきておりました。私どもとしましては、こういうことも非常に大きな問題だと思っております。千倉地区におきましては、幼稚園小学校を半数以下の2校あるいは1校にする方向で再編をお願いしたいということで、よろしく申し上げます。

- 委員長 質疑がありますか。
- 委員 1校か2校ということですが、1校にする場合、2校にする場合で残す学校とそうでない学校があると思いますが、そういう素案はありますか。
- 教育長 それは次回で。今日、再編の方向で結論がいただければ、次回の会議で具体的に提案していきたいと思っています。今日の会議は全体的な現状を御覧いただいて、現在の4校ではなくて2校あるいは1校にする方向で協議を進めていくということで先程から申し上げておりますけれども、それが私どもの考えでございます。
- 委員長 それでは他にありますか。
- 委員 児童推移予想の数字だけを見ると1校にしてもやむを得ないという感じもしますが。
- 委員長 1校にしてもいいのではないかという意見ですが、その辺につきましては、次回の提案の時話しをします。今回は再編計画を立てていかどうかを協議します。他になければ、第2号「学校再編検討委員会の推進体制について」ということで事務局より説明をお願いします。
- 教育長 よろしいですか。私どもが提案します枠での第1号あるいは第2号で再編するという方向でよろしいでしょうか。他の地区でも再編があいまいなままだとの御指摘を受けまして、非常に困るという状況もありましたので、今、お二人の委員から御意見をいただいたのですが、これでよろしいかどうか。
- 委員長 教育長からの話しがありました件、議事の1号ないし2号でその方向で検討に入ってよろしいかどうかということですが、いかがでしょうか。
- 委員 その議題についてはこれから答えが出るとは思いますが、この議題の中で「幼稚園小中学校」とありますが、今議論されているのは、幼稚園小学校のことだと思いますが、中学校も考えているのですか。それともこれから議題に出るのですか。
- 教育長 現在のところ千倉中学校の再編は考えておりません。千倉中学校につきましては現在のまま1校で。したがって、今後、私どもが提案するのは幼稚園と小学校で、皆さんの1つの方向が決まりましたら提案していきたいと思っています。
- 委員 そうしますと、議題の第1号の幼稚園及び小中学校再編計画については、幼稚園小学校の再編計画ということでよろしいでしょうか。
- 教育長 中学校も入れたのは中学校も統合という考え方も出てくるのであれば議題に入れていかなくはいけないということで、小中学校と入れてあるだけです。

- 委員 　私は個人的に中学校を編成すべきと思っているので、それを、議題に入れて下さいとこの場でお願いした方がいいのか、後でいいのか。
- 委員長 　わかりました。今、この定款に載っているのは幼稚園と小学校ということですが、しかしながら、これが6年たち、先へ行けば行くほど、この問題は当然、中学校にかかわってきます。ただ、現実にはやらなければいけない事柄は、幼稚園、小学校をどうするかということで、やがては、中学校も再編しなくては行けないと推測されますが、今は、中学校についてはそのままで。
- 教育長 　現在の段階では、中学校の統合は考えていないということも含めて次回提案したいと考えています。
- 委員長 　そういうことでございます。
- 委員 　「7. 地区推進方法」の説明で「検討準備会の検討を受けて、地区学校再編検討委員会議を設立し」とありますが、準備会というのはどうやってとらえたらいいですか。
- 事務局 　準備会とは基本的には行政連絡委員の組織です。その組織に伺いを立てて、地区検討委員を決めております。
- 委員 　わかりました。
- 委員 　先程から学校を1校か2校と具体的な数を言っていますが、この提案で承認しなくては行けないのか。4校の半数以下として皆さん理解したほうがいいのではないのでしょうか。
- 委員 　1校か2校かということについては承知しました。1校になった場合に学校に生徒が入りきれますか。
- 委員長 　その辺は検討していきながらだと思えますが。
- 事務局 　今現在の人数ですとたぶん入りきれませんが、年数が経っていきまると、大きい学校であれば入れるかと思えます。
- 教育長 　1校にすれば当然、校舎を増築しなければいけないわけですけど、色々な再編方法が考えられると思います。今の千倉地区にある4つの小学校の大きさや子供の人数の変化、教室を具体的に考慮しながら次回に提案したいと思っています。
- 委員 　今一番、収容できる学校というところになりますか。
- 事務局 　一番大きな学校は健田小学校になります。
- 委員 　いつごろ実現する予定でいますか。
- 委員長 　目指すのは2、3年後ということが最初から出ていますけど。それまでにどのように考えるのかというのが、この検討委員会だと思えますが、少なくとも来年中ではなくて、2、3年後ということになると思うのですが。
- 委員 　巷の話ではあと3、4年先になれば児童数は減るから、一番大きい健田

小で1つにして、増築しなくてもいいじゃないかという噂がありますが、  
どうですか。

委員 忽戸小も朝夷小も2クラスが入るとい建築はしてありますので、健田  
小だけが収容できるというわけではありません。忽戸小も朝夷小も収容で  
きる数はあります。

委員 次かその次の会議でいいですが、今、各小学校の子供たちは歩いて通学  
していると思いますが、今後、学校が統合になった場合、歩いて通えない  
子供たちはスクールバスということになります。そうすると、本来、学校  
まで歩いて通うことで自然と付く6年間の体力が抜けてしまうことになら  
ないでしょうか。例えば健田小1校になったと仮定して、朝夷、七浦、忽  
戸の子がスクールバスで通学すると、5年後、朝夷地区の子が健田地区の  
歩いている子より体力がなくて骨折する子が増えてしまうとか、もっと大  
きく考えると、50年後の健田地区の老人より朝夷や忽戸地区の老人が歩  
けないような人が増えてしまうとか、そういうことがあるのであれば、こ  
の学校再編というのは、私はやってはいけないことではないのかと。です  
ので、どこかの学校や大学に調べてもらって、会議の資料として示してい  
ただきたい。こういうことで体力低下の心配はないということであれば「は  
い。わかりました。」ということになります。

教育長 そのことは再編とは別に考えていただきたい。和田地区の再編が最初  
にあったわけですが、その際に2kmを超えたらスクールバスという  
通学支援の条件が決まって、それがその後の富浦、富山、白浜地区の基準  
になっています。ただ、私個人としては2kmでスクールバスの基準には  
疑問に思っています。子供たちの心身発達にとってはある程度歩いたほう  
がいいのではないかという想いはあります。ただ、再編の条件として同じ  
ようにやってきましたので、一通り終わるまでは2kmで通学支援をやっ  
ていかざるを得ない。その後、今、御意見いただいた子どもたちの体力な  
どを考えて、歩く距離をもう少し長くするとか、そういったようなことが  
必要であれば取らなくてははいけない。ただ、難しい要件がありまして、子  
供の数が減って、登下校時の安全確保という、また別の問題もあるとい  
うことを御理解いただきたいと思いますが、委員が御指摘なことは私どもも  
問題として意識しております。

委員 そういうことは心配ないとか、こういう事例があるので、その部分は大き  
夫ですということをいつかどこかの形で示していただきたい。個人的でもい  
いので、よろしく願います。

教育長 ただ、2km以上歩かせるとなると、かなりの保護者から反対をいただく  
ことを覚悟して、子供たちにとって何が一番大事かということを求めていき

たいと思います。

委員長        それでは第1号「幼稚園及び小中学校の再編計画について」は半数以下にするということによろしいでしょうか。

(満場一致)

委員長        次に第2号「学校再編検討委員会の推進体制について」お願いします。

事務局        地区推進イメージや検討委員会の組織について説明。

委員長        今、説明のありました件について、質疑などがありましたらどうぞ。

委員        一般市民の意見やアンケートとか具体的な行動を起こすことはしないのでしょうか。

事務局        今まで他の地区において、アンケート等を行なっていません。

ただ、場合によってはPTAの中で、保護者の意見のアンケートを取るといことはあるかもしれませんが、この会として、そのようなことをしたことはございません。しかし、検討委員会で一定の方向性がある程度決まりましたら、次の段階とすれば、千倉地区の住民説明会を開催して、地域住民の方の御意見を伺う機会を作るということで考えております。

委員        わかりました。

委員長        第2号「学校再編検討委員会の推進体制について」は事務局の説明通りでよろしいでしょうか。

委員        はい。

委員長        では、第3号「学校再編に係る協議・検討事項について」事務局より説明をお願いします。

事務局        学校再編に係る協議・検討事項についての説明。

委員長        この学校再編に係る協議・検討事項については説明のあった通りでございますが、さらに検討を進めながら提案してもらいたいと思います。それでは、第4号「第2回検討委員会の日程について」事務局からお願いします。

事務局        それでは、第2回の検討委員会の日程調整ですが、3月、4月におきましては各種団体あるいは学校PTA等の総会も控えていると思われれます。また、役員改選も考えられます。委員構成が変わりますと委員の変更に時間が必要となることから、最短で5月下旬ごろから6月上旬に第2回目を考えております。それから会議の開始時刻ですが、他の地区においても本日のように午後7時からの会議開催ですが、皆様方に不都合がなければ同様の時間と考えておりますがいかがでしょうか。よろしくをお願いします。

委員長        事務局から日程についての提案がありました。まず、5月下旬ごろから6月上旬にかけて第2回検討委員会を開きたいとそれは午後7時でよろしいでしょうか。なければ、このような方向で検討して進めていきたいと思っております。

本日の議事の1から4までについて終わりました。これで終わりにしたい  
と思います。御協力ありがとうございました。

傍聴者は議事が終了しましたので、退席をお願いいたします。

それでは、事務局から連絡事項がございますので、お願いします。

事務局

ありがとうございました。事務局から報告させていただきます。本日、協  
議いただきました内容等については各種団体の役員会または総会で御報告い  
ただければと思っております。色々な形の中で意見集約に努めていただきた  
いとそう感じております。次に第2回の会議が5月後半ということで  
了解いただきましたので、各種団体におきましては役員改選が予測されます  
ので、変更となる団体につきましては新たな検討委員の推薦をお願いしたい  
と思います。よろしく申し上げます。

以上をもちまして、第1回千倉地区学校再編検討委員会を閉会いたします。